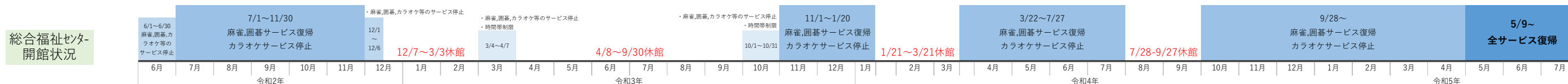
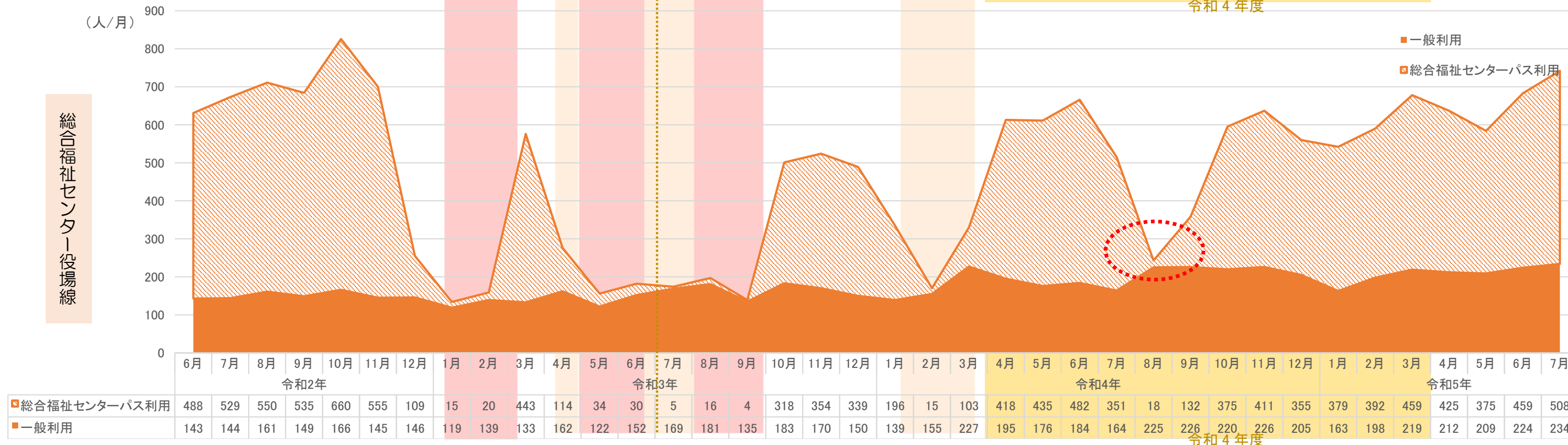
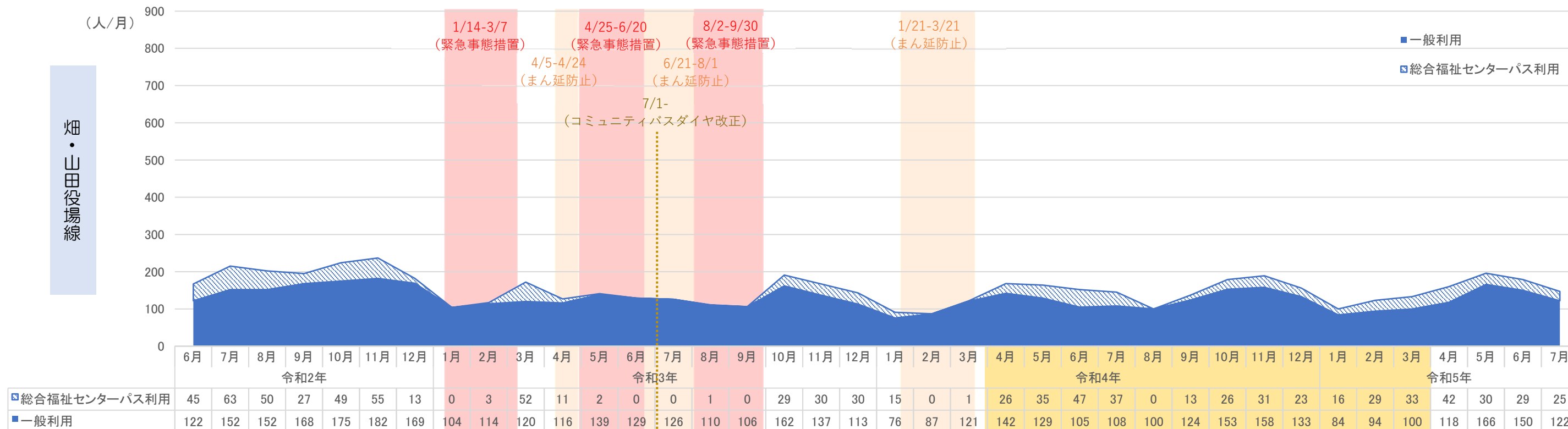


■たいしのってこバス（太子町コミュニティバス）の乗車実績

- 乗車人数の多い総合福祉センター役場線は、総合福祉センターバス利用者が多くを占めているため、緊急事態措置や総合福祉センターの休館があった期間では、乗車人数が減少している。一方畑・山田役場線は、総合福祉センター役場線に比べて乗車人数は少ないものの、緊急事態措置や総合福祉センター休館等の影響は少ない。両路線とも、総合福祉センターバスを除く利用者（一般利用）は、同影響は少なく、一定した利用がある。
- 令和4年度は、夏季頃に総合福祉センターの休館があり総合福祉センター役場線で乗車人数が減少したものの、開館後は増加し3月には700人/月近くの利用があった。

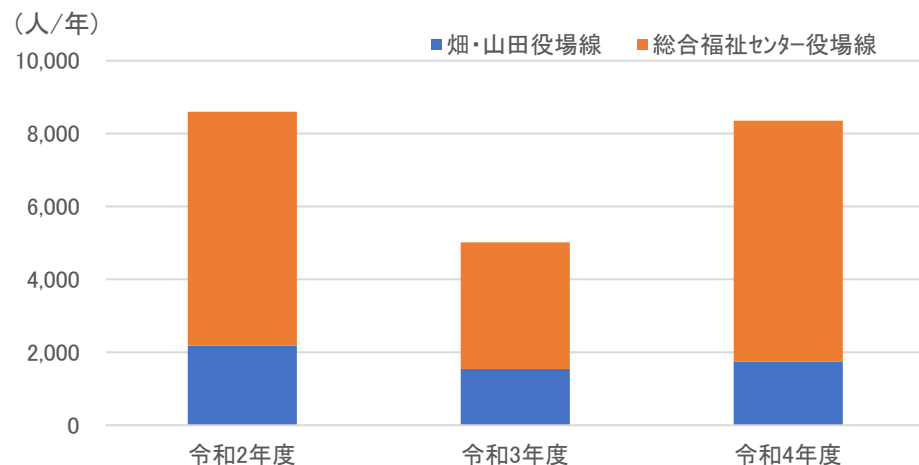


■年度比較

【年間乗車実績】

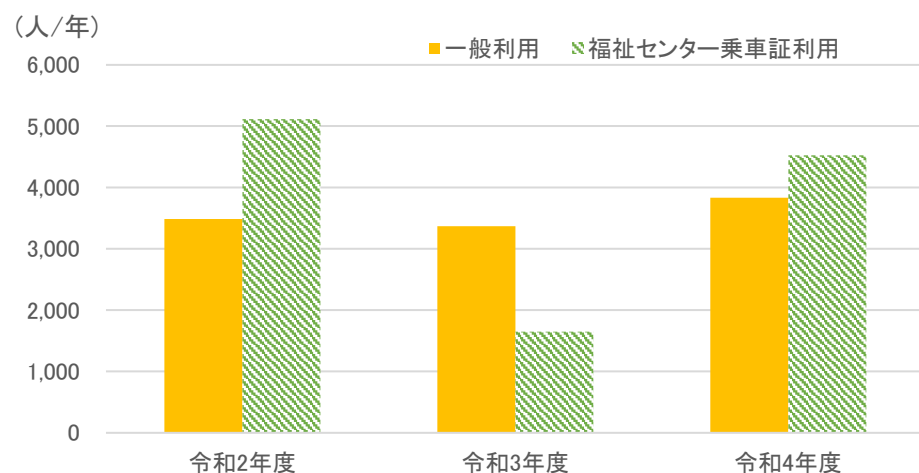
- 路線別にみると、前年よりも両路線増加し、合計で約 3300 人/年 (+67%) 増加している。
- 福祉センター特別乗車証の利用別もみると、総合福祉センター乗車証利用が 2 倍以上に増加している。一般利用も約 1 割増加し、最も多くなっている。

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
畑・山田役場線	2,178	1,541	1,746	+13%
総合福祉センター役場線	6,419	3,473	6,608	+90%
合計	8,597	5,014	8,354	+67%



▲ 年間乗車実績 (路線別)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減
一般利用	3,484	3,367	3,831	+14%
福祉センター乗車証利用	5,113	1,647	4,523	+175%
合計	8,597	5,014	8,354	+67%



▲ 年間乗車実績 (福祉センター特別乗車証利用別)

※比較のため、令和 2 年度は 10 か月間の乗車実績を 12 か月換算 (×12/10) した推定値を用いている。  
 ※令和 3 年度はお買い物便イベント (役場⇄商業施設の便) の利用者を除く。

【運行に係る経費・収入・収支率】

- 乗車人数が増えたことにより収入が増加、収支率も令和 2 年度と同等の数値となっている。

▼ 収入・支出

収入項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
現金収入	256,932	246,620	275,620	+12%
お出かけ支援事業補助金	226,800	207,700	248,800	+20%
乗り換え運賃補助金	39,168	19,760	26,240	+33%
総合福祉センター利用者支援制度補助金	915,360	304,720	793,360	+160%
新型コロナワクチン接種者運賃補助		30,040	22,220	-26%
返還金			-19,960	-
合計	1,438,260	808,840	1,346,280	+66%

支出項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
燃料費	1,417,304	1,414,261	1,437,336	+2%
修繕費	1,914,472	750,035	1,120,284	+49%
車検等手数料	40,008	30,630	30,630	0%
運行管理委託料	13,440,000	13,600,000	13,600,000	0%
公用車重量税	34,200	31,500	31,500	0%
合計	16,845,984	15,826,426	16,219,750	+2%

(単位:円)

※乗車実績と同様に令和 2 年度は 10 か月間を 12 か月換算した推定値。

▼ 収支率等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	前年比
収支率	8.5%	5.1%	8.3%	+62%
乗車人数 [人/年]	8,597	5,014	8,354	+67%
乗車1人あたりの経費 [円/人]	1,960	3,156	1,942	-38%

【各種支援制度】

- 100 円割引券の利用者が過去最も多くなっている。

▼ 各種支援制度利用実績

	乗車人数	100円割引券	福祉センター特別乗車証	乗継割引券発行	乗継割引券使用
令和2年度	8,597	2,268	5,113	577	278
(参考) 乗車人数に対する割合	-	26%	59%	7%	3%
令和3年度	5,014	2,128	1,647	521	168
(参考) 乗車人数に対する割合	-	42%	33%	10%	3%
令和4年度	8,354	2,489	4,523	561	182
(参考) 乗車人数に対する割合	-	30%	54%	7%	2%

※乗車実績と同様に令和 2 年度は 10 か月間を 12 か月換算した推定値。

まとめ

- 一時的な総合福祉センターの休館等の影響はあったものの、前年よりも乗車人数が増加した。
- 一般利用が徐々に増えてきており、より多くの人に利用してもらえるよう、新型コロナウイルス感染拡大防止によりできなかった利用促進活動に取り組んでいく必要がある。